

陸上運動部部便り

2004 年 8 月号

七大戦

目次

1 監督の言葉	1
2 主将の言葉	1
3 女子主将の言葉	2
4 試合経過	2
5 試合結果	8
6 2004 年度部内 5 傑 2004.8.1 現在	13

1 監督の言葉

七大戦 監督 八田 秀雄

七大戦は、8月1日札幌市円山公園競技場で行われました。気温は28度前後までしか上がらず、午前中は一時的に雨でしたが、午後は止んで涼しく快適でした。今年は男女ともエースがいるので、2番手が下位入賞を重ねればあるいは、という期待を持っていました。しかし男子は全くの不振。2番手の下位入賞どころか、エースまでもとれるはずの点がとれない悲惨な結果に終わってしまいました。最初の3000m 障害や400mの苦しいスタートは覚悟していましたが、挽回するはずの110mHで田中が予選落ち。100mではエース二人が予定通り決勝進むも、決勝で米田は1位になるも、式場が途中でやめてしまって、ムードをそいでしまいます。1500mでは、新井と松本がともに3分台の自己ベストながら5,6位で3点。走幅跳で12点をとりましたが、足を痛めていた藤田が三段は無理。悪い方悪い方に展開し、主将副将で20点くらいは取って欲しいところが6点と、いい

ところ全くなく、よい方に予想が外れたのが庄司の800mくらいで、終わってみれば44点しかとれず5位。なんのために札幌まで行ったのかも呪いたくなるような最悪の試合内容でした。記録的にみるとトラックはレベルが高く、各校にそれだけ選手が入っている状況が見えます。それにしても七大学の中では一番の恵まれた練習環境を持ち最も部員数の多い我々が、あまりに貧弱な層の薄さで大敗したという事実に対して、どう対処していくべきか、お先真っ暗なのが率直の所です。一方女子は塩入が100mと400mの2種目で1位。目黒が800mで大会新。向田が大健闘の3000mで3位。0点のおそれのあったフィールドでも、本間が走高跳と砲丸投で得点し、総合優勝までは届かなかったですが、総合2位はよくやりました。女子は一人一人が自分のことをよく見て集中して練習し結果を出していると思います。

2 主将の言葉

主将 式場健太

今年度の七大戦は7月31日から8月1日にかけて、北海道を舞台に開催されました。下馬評では優勝争いの有力候補でしたが、ふたをあけてみると総合5位という結果に終わりました。これは七大戦においてわれわれ東大陸上部がとった過去最低の成績であり、部を率いる主将として非常に遺憾に思います。確かに、有力選手が相次いでけがをしてしまったこと、試合ならではのアクシデントが起こったことも惨敗の原因といえるでしょう。しかし、この歴史的な大敗をみると、原因はそこにとどまらないように思います。今後、この敗北の意味を部員ひとりひとりが真摯に受け止め、

原因の解明につとめないかぎり、わが部はますますの弱体化が進んでしまうでしょう。私の任期もあと2か月ほどとなりましたが、今後の陸上部のために、いかにチームの意識を改革していくかというテーマをもって活動していきたいと考えています。今シーズンは一橋戦、京大戦と勝たなくてはならない試合がまだまだあります。部員一同気持ちを切りかえて精一杯戦っていく所存です。ますますのご声援よろしくお願いいたします。

3 女子主将の言葉

女子主将 塩入敦子

小雨の降る中、札幌市円山競技場で七大戦が行われました。女子は、多くの選手が昨年からの大会を目標にしてきたということもあり、3年振りの総合優勝を目指し一丸となって臨みました。結果は惜しくも3年連続の2位でしたが、全員が1年間の練習の成果をぶつけることができたと思います。名大圧倒的有利という前評判で始まった今大会ですが、最初の種目走高跳で名大が0点と出遅れ、逆に東大は本間(1年)の活躍で貴重な1点を獲得し前半の流れをつかみました。続く100m、800mでも4年塩入、目黒がそれぞれ連覇を果たし、チームに更なる勢いを呼び込みました。午後の3000mでは2年向田が昨年の無念を晴らす好走で表彰台に上がる活躍、400mでは4年連続で目黒、塩入が揃って入賞を果たしました。終盤で名大の得意種目での大量得点により、逆転を許してしまいましたが、選手全員が1点でも多くの得点獲得を目指し、最後まで諦めずに試合に挑むことができました。しかし、現在の自分たちの全力を出し切り、少ない人数でもこれだけやれるということを見せることはできましたが、十分に満足できたというわけではありません。この大会を次へのステップにして、更に向上しようという姿勢が多く部の員に見られます。私が主将になってから、女子も陸上競技者としてのプライドや向上心、勝ちたいという強い気持ちをもつチームにしたいと取り組んできたことが、浸透してきたのだと嬉しく思います。秋シーズンも、このままの勢いで(男子を引っ張り)、突っ走っていけると思い

ます。OB・OGの皆様の、より一層のご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

4 試合経過

トラック

10:00 男子 3000mSC 決勝

曇りで涼しい天候の中行われた3000m障害に深瀬(4年)と岡田(2年)が出場。スタート直後から縦長の展開になり、二人とも後方についた。1000mを先頭は3'02の速いペースで入り、岡田は3'12、深瀬もそのすぐ後に続いた。全体的には徐々に三つの集団に分かれていった。中盤は、岡田は我慢して後方集団で抜きつ抜かれつ走り、深瀬は粘りの走りでなんとか集団に食らいついた。そして終盤、岡田はラスト一周でしっかりペースアップして順位を上げていったが得点には届かず8位。深瀬は苦しい走りでペースが上がらず、11位に終わった。深瀬は最後の七大戦で長チーフとして意地を見せたかったが、5月からの怪我で練習を積めず、力尽きてしまった。しかし、残された試合に向けてベストを尽くしてもらいたい。一方、岡田は15秒ベストを更新し、6位を狙って視界に入れつつ追い上げたが届かなかった。本人としては、予想通りのタイムではあったが、不満の残る試合であった。来年こそは点を取ってくれるであろう。

10:20 男子 400m 予選

史上最高レベルの戦いが予想された男子400m。まずは1組2レーンに小澤(1年)の出場。無難にスタートを切ると、各選手予選突破を狙い果敢に飛ばす中、ペースを乱すことなくバックストレートを疾走。コーナーを抜けてきた時点では最後尾だったが、最後何とか粘り6着でゴール。記録は52"56であった。2組7レーンに田中佑(3年)の出場。ス

タートは順調で、バックスレートを先頭集団で駆け抜ける。しかし、後半他選手が伸びを見せる中、田中はずるずると後退してしまう。フィニッシュは5着、53"16を要した。3組6レーンに伊勢田(2年)の出場。最初の200mをやや抑え気味に入ると、コーナー出口から伸びを見せ外側のレーンの選手をかわしていく。ホームストレートでも失速することなく、2位争いから抜け出し、50"79の2着でゴール。有力選手の棄権という運にも恵まれ、2年連続の決勝進出を決めた。

10:45 男子 110mH 予選

1組7レーンに梅沢(2年)の出場。良好なスタートで飛び出すも、1台目のハードルを越えた辺りから、先頭との差が広がり始める。リズムに乗れないまま、必死に追い上げようとするが届かず4着、16"15(-0.9)でゴール。3組5レーンに田中啓(4年)の出場。スタートの反応はまずまずだったが、直後に足がつったのかみるみる後退してしまう。ハードルを越えるごとに走りが悪化し、ついに7台目を手で倒してしまう。そのまま足を引きずるように止まり、途中棄権となった。田中は今季好調であり、4年目にして初の入賞が期待されていただけにショックの大きな結果であった。

11:10 男子 100m 予選

1組8レーンに米田(3年)の出場。いつも通り鋭く飛び出すと、スムーズに加速し先頭に立つ。余力を残して10"97(-0.2)の2着でゴール。下馬評通り決勝に進出した。2組5レーンに式場(4年)の出場。スタートのタイミングがぴたりと合い、先頭に立つと、終盤の追撃も余裕を持ってかわし、11"12(+0.4)の1着でゴール。怪我の影響を感じさせない走り、米田と揃って決勝進出を決めた。3組7レーンに瀧山(2年)の出場。いいスタートを切ったが、中盤で

伸び悩み順位を落とす。なんとか粘りを見せるが11"54(-0.4)で5着、予選敗退に終わった。

11:30 男子 1500m 決勝

曇り空で蒸し暑い中、中原(3年)、新井(2年)、松本(1年)の出場。スタート直後からハイペースでレースが進み、400mの通過は61秒。600mを過ぎて完全に集団は縦長になる。新井は3人の先頭集団の2番手に、松本はやや離れて4番手、中原はさらに後ろの大集団の中ほどに着く展開。1000m付近で松本が3番手に上がり、新井はペースを落とし、四番手に下がる。中原は集団の中でやや前に出るが、先頭とは大きく差が開いてしまう。ラスト300mで新井・松本は後続に追い抜かれ、苦しい展開になるが、必死の粘りを見せ、ほぼ並ぶように5、6位でゴール。わずかに松本が新井を上回り、松本が3'57"98の5位、新井が3'58"21の6位でフィニッシュ。中原は4'07"92の14位となった。大会新記録も生まれ、4分を切る選手が8人も出るという非常にハイレベルなレースとなり、タイム的には3人とも期待通りであったが、計3点の獲得にとどまった。

11:55 男子 400m 決勝

2レーンに伊勢田(2年)の出場。序盤から切れがなく、一気に置いていかれてしまう。後半粘り、少しずつ追い上げるが届かず51"01の8位でゴール。2年連続で決勝に進みながら、今年も得点獲得はならなかった。

12:20 女子 100m 決勝

4レーンに小原(2年)、6レーンに塩入(4年)の出場。塩入はよい反応を見せ、序盤から先頭を奪うと、中村(東北大)との激しい首位争いを制し2連覇を達成。記録は12"91(-0.6)であった。この種目で東大勢が4連覇を果たした。一方小原はスターターとのタイミングが合

わず、得意のスタートでまさかの失敗。挽回しようと必死に追撃するが、リズムに乗ることができず 13"43(-0.6) で 5 位に終わる。

12:30 男子 100m 決勝

4 レーンに式場 (4 年)、5 レーンに米田 (3 年) の出場。予選 3 組を 1 着で通過した荻山 (阪大) が 2 度目のフライングでまさかの失格。波乱の幕開けとなる。米田はまたも絶好の飛び出しで序盤から先頭を独走。後半後続にやや詰め寄られるも逃げ切り、10"86(-0.6) で初制覇。見事期待に応える走りであった。式場は反応こそ悪くなかったが、直後に足の痛みから失速。最後は止まるようにして何とかゴールしたが、12"26(-0.6) の 7 位に終わった。1 位は確保したものの、大量得点が見込まれていた種目であっただけにその後の展開に勢いがつけられず、チームとしては残念な結果であった。

12:50 女子 800m 決勝

目黒 (4 年) の出場。スタート直後から積極的に先頭に立ち、前半で 2 位以下の選手を大きく引き離す。400m を 64 秒と予定どおりで通過。そのあたりから少し疲れが見え始め、後続の追撃を許すかと思われたが、そこからはさすがの粘り強さで逆に差を広げてのゴール。2 位以下に 5 秒差をつける 2'16"45 での圧勝であった。全カレ標準は切れなかったものの、昨年に自身の打ち立てた大会記録を更新しての 3 連覇を果たした。

13:00 男子 800m 予選

小雨の中、予選 1 組に橋本 (2 年) の出場。第 2 コーナーで 2 番手になると、積極的に走って 200m を 27"8 で通過。レースはそのままの位置取りを維持しながら 400m を 59"0 で通過するが、500m 付近から徐々に後退。600m で 4 番手になり、最後の直線でさらに 2 人に抜か

れて、もがきながら 2'00"70 の 6 着でフィニッシュ。タイムは今季ベストだったが決勝進出にはまだまだ力不足であった。2 組に庄司 (3 年) の出場。スタートから集団が他の組よりハイペースに進む。200m を 27"4 で通過し、第 3 コーナーで外側に出ると、直線で先頭に立ち、400m を 57"8 で通過。先頭を譲らず 600m を 1'27"4 で通過し、そのまま逃げ切って 1'57"75 の 1 着でフィニッシュ。自己ベストで予選をトップ通過し好調さを見せつけた。3 組に村井 (3 年) の出場。第 2 コーナーを出ると先頭に立ち、後続を引き離して 200m を 26"9 で通過。しかし、そこから思うようにペースを維持できず後続に差を詰められながら 400m を 57"8 で通過。後ろからの仕掛けに一度は対応できたものの、バックストレートで首位を譲ると、その後は徐々に後退してしまう。ホームストレートに入ると前の 2 人に差を広げられ、さらに残り 50m で 1 人に抜かれてしまう。そこから急激に失速し、1'59"21 の 4 着でフィニッシュ。プラスでも拾われず予選敗退となった。

13:20 男子 400mH 予選

1 組 8 レーンに坂田 (2 年) の出場。好スタートを切ると、柔軟性をいかしたハードリングで順調に進んでいく。しかし 5 台目で足が合わず失速してしまう。終盤何とか追い上げようと奮闘するも、最終ハードルでまたしてもミス。結局 60"92 で 7 着に終わった。3 組 2 レーンに磯部 (2 年) の出場。前半、積極的な走りで順調にハードルを越えていく。しかしコーナー入り口からスピードが鈍り始め大きく後退。最終ハードルを越えてから必死に粘り 1 人をかわしたが、61"97 で 5 着であった。

13:50 男子 200m 予選

2 組 5 レーンに米田 (3 年) の出場。式場が負傷で欠場し、米田一人に大きな期

待がかかる。無難にスタートすると、スムーズな加速で先頭に立つ。直線の向かい風にも負けることのない力強い走りで順位を守り、22"53(-1.1)の1着で余裕を持ってゴール。3組7レーンに相川(2年)の出場。スタートは順調で、3番手辺りで直線に出てくる。直線での3位争いにわずかに敗れ、23"06(-1.2)の4着であった。

14:10 女子 3000m 決勝

向田(2年)、清水(2年)の出場。スタート直後に東北大の選手が飛び出し、向田はその後方に4人で2位集団を形成。1000m過ぎにそこから九大の選手が落ち、向田は3人の第2集団の2番手を行く形に。終盤まで84-85のラップを着実に刻む。2500m過ぎからペースが上がり小山(名大)が脱落し、向田と三谷(名大)との一騎打ちに。ラスト400mで向田がスパートし逃げ切るかに見えたが、ラスト80mのスプリント勝負でかわされてしまう。それでも10'29"32の3位でフィニッシュ。普段は練習でも試合でも一人旅になることが多かったが今回は他大の選手と競って良い結果を残せた。清水は序盤から一人旅になったにもかかわらず、終始自分のペースを守り、安定した走りを見せた。大崩れすることなく、ラスト200mを46に上げ、11'46"13の11位でゴール。自己ベスト更新を果たした。

14:40 男子 4 × 100mR 決勝

6レーンに、瀧山(2年)-米田(3年)-相川(2年)-式場(4年)の走順で出場。1走は七大学がほぼ横一線で進む。米田はすばらしい加速で他大学を突き放し、ここでトップに躍り出る。相川は1時間前の200mの疲れから、いつもの伸びが見られず、混戦でバトンは式場へ。リレーのために200mを欠場した式場は、序盤はなかなかの加速を見せたが、痛めた足では踏ん張りがきかず最後名大

にかわされ4位でゴール。記録は42"64であった。上位が確実視されていた種目であったが、ここでもアクシデントに泣く結果となってしまった。

15:10 女子 400m 決勝

3レーンに塩入(4年)、5レーンに目黒(4年)の出場。塩入は大会記録(57"7)の更新を狙い、前半から果敢に飛ばしていく。最初の100mで外側の選手をすべて抜き去ると、ぐんぐんスピードに乗り300mを41秒台で通過。しかし、ホームストレートの向かい風に阻まれやや失速してしまう。結局大会記録の更新はなかったが、58"42で見事3連覇、100mと合わせた2年連続の2冠を達成した。目黒は順調な滑り出しを見せたが、大会記録を更新した800mの疲れもあり中盤やや後退してしまう。しかし直線では中距離選手らしい粘りで踏ん張り、59"95の4位。4年連続で2人が入賞するという強さを見せた。

15:20 男子 800m 決勝

庄司(3年)の出場。庄司は予選と同様に積極的な走りを見せ、序盤は先頭にしっかりつき、2番手でレースを進めていく。200mを28秒台のまづまづのペースで通過し、その後に3番手に順位を下げるが、しっかりとした走りで先頭集団についていき400mを58秒台で通過。ラスト200mあたりで前の2人に多少の差をつけられてしまうが、最後まで集中力を切らさず、4位との差を広げてゴール。1'58"43で見事3位入賞を果たした。

15:40 男子 200m 決勝

6レーンに米田(3年)の出場。好スタートを切り、前半は快調に飛ばしていくが5本目ということもあり直線に入って失速。次々にかわされ22"59(±0.0)の8位でゴール。まさかの無得点に終わった。来年以降、式場が抜ける短距離で、本数を重ねる試合でも安定した

力を発揮することが求められるだろう。

16:00 男子 5000m 決勝

宮崎 (3 年)、村田 (3 年)、松本 (1 年) の出場。松本は 1500m の疲れを見せずスタートから先頭を争い、300m 過ぎからトップの橘 (東北大) の後方に付ける。橘がほぼ 1km3 分のペースで先導し 1800m で集団を離して松本との一騎打ちになる。レースが動いたのは 3500m、松本が橘をかわし前に出るも橘はぴったりと付いてくる。4200m で今度は橘の猛烈なスパートに松本はまったく太刀打ちできず一気に 50m 以上引き離され 14'50"27 の 2 位でゴール。松本にとっては楽なペースであったが、スピードで競り負けてしまうという課題の残るレースではあった。しかし、1 年生ながら昨年までの大会記録を上回る快走を見せ、この種目で東大勢として 2 年ぶりの得点獲得を果たした。一方、宮崎と村田は最初から中程に付き苦しいレースとなる。二人とも 1000 m 過ぎから徐々に集団から離されるが、村田は粘りを見せ 15'28"25 の 11 位。点数に絡む事はできなかったが、目標としていた自己ベストを叩きだした。一方、宮崎はいまひとつ奮わず 15'56"81 の 15 位。まだまだ力不足を感じさせる結果であった。

16:25 女子 4 × 100mR 決勝

3 レーンに小原 (2 年)-塩入 (4 年)-津村 (4 年)-目黒 (4 年) の走順で出場。小原は 100m での無念を晴らす好スタートで抜け出すと、予想通りトップでバトンは塩入へ。短距離 2 冠の塩入は強さを見せつけ、後続を大きく引き離し、津村へのバトンパスも成功。津村は急遽起用されたハンデも見せず好走し、目黒へとつなぐ。バトンパスでもたつきここで名大にかわされるが、目黒が必死に追い上げ、51"98 の今季ベストで 2 位に入った。1 点差で惜しくもトラック優勝を逃したものの、トラック全種目

で得点し、18 点を獲得した。

16:35 男子 4 × 400mR 決勝

2 レーンに米田 (3 年)-伊勢田 (2 年)-小澤 (1 年)-沖田 (1 年) の走順で出場。米田はスタートこそ快調であったが、やはり疲労により後半は失速。最後尾で伊勢田へとバトンが渡るが、ここでもミスが出て 6 番手からも大きく離されてしまう。伊勢田は必死の追い上げで肉薄したが、3 走小澤も順位を上げることができず沖田に託す。前半から猛烈に追い上げたものの、そこまでについた差が大きくそのまま 7 位、3'27"81 でゴール。九州大が違反行為で失格したため繰り上がりで 6 位となったが、わずかに 1 点という寂しい結果に終わってしまった。

フィールド

10:00 女子走高跳 決勝

本間 (1 年) の出場。1m20 の高さから開始された。1m25 までは難なく 1 回でクリアしたが、1m30 はバーに触れつつも 2 回でクリアした。自己ベストである 1m35 は失敗に終わったが、4 位に入り 1 点を獲得した。

10:00 男子棒高跳 決勝

持永 (2 年)、佐野 (2 年)、宮 (2 年) の出場。棒高跳に出場するのはこの試合が初めてとなる宮は健闘するも最初の高さが跳べずに記録なし。この試合から 14ft のポールを使い始めた佐野は練習ではポールがなかなか立たなかったが、本番ではしっかり立てることができ 3m00、3m20 としっかり跳んでいき記録は 3m20 で試技を終了。持永は 3m00、3m20 と 1 回目で跳ぶが 3m40 は惜しい跳躍があったものの跳べず、3m20 で試技終了。持永が 9 位佐野が 10 位で点数獲得はならなかった。

10:00 男子円盤投 決勝

合田(2年)、持永(2年)、小林(1年)の出場。合田は5投目まで1位をキープするものの、6投目に逆転され、35m06の2位で競技を終えた。持永は、棒高跳びと試合進行が重なり、難しい試合運びを強いられる。そのような状況で27m30と自己ベストを更新する投擲をみせたが、ベスト8にはわずかに届かず11位。小林も自己ベストを更新し、24m58の記録をのこすものの、ベスト8進出には及ばず15位に終わった。

11:10 男子走幅跳 決勝

藤田(4年)、吉岡(4年)、竹内(2年)の出場。小雨の降るなか、競技が開始された。藤田は数週間前に痛めた足の調子が回復せず、満足のゆく跳躍ができない。それでも悪いなりに助走を無難にまとめ、3回の試技を終えて6m85で2番手につける。吉岡もここ数日満足のいく調整ができていなかったが、持ち前の安定したジャンプを披露し、3回目の試技で6m75を跳び3番手へ。竹内は調整がうまくでき、体調自体は良かったものの、緊張のためか若干堅い助走になってしまい、2回ファールの後に6m67を跳び5番手につけた。3回目の試技までで、東大からは予想通り3人が得点圏内に入ることとなる。ベスト8選出後、雨がより一層強まる。各選手が記録を伸ばしきれないなか、藤田が今季の勢いそのままに7m00を5回目に記録する。一方の吉岡と竹内は、記録を伸ばすことができなかった。結果、5回目の7m00で京大の杉本をかわした藤田が1位となり、去年に引き続いて七大戦勝利。吉岡も6m75で、去年の4位から順位を1つ上げる3位入賞。竹内も5位に入り、東大跳躍陣の強さを見せつける見事な試合であった。

11:40 男子砲丸投 決勝

合田(2年)、持永(2年)、小林(1年)の

出場。悪天候の中持永は1投目に8m48を投げ、同時進行していた棒高跳に向かう。2投目からは雨足が強くなり、コンディションはさらに悪くなる。その中で小林は記録を今季ベストの9m36に伸ばしたが、惜しくもベスト8には及ばず9位。また3投目終了間際に持永が棒高跳から戻って投げたが、記録を伸ばすことはできずに終了。14位であった。合田はベスト8に残って、悪天候の中5投目に9m81を投げ3投目までの記録を伸ばすものの、順位をあげられず7位に終わった。

13:00 男子走高跳 決勝

田中(4年)、宮(2年)、木村(1年)の出場。競技の前から雨が降り出す厳しいコンディションであった。競技は1m60から開始され、田中・宮は1m80から、木村は1m60から試技を開始した。木村は1m60は練習では跳べていたものの試技では固くなってしまい、失敗。記録なしに終わった。田中・宮ともに1m80を1回でクリア。1m85を田中は1回でクリアするが、宮はうまく高さが得られず失敗。1m80で9位に終わった。自己ベスト1m95の宮は期待されていただけに残念な結果となった。田中は自己ベストである1m90に挑戦したが、クリアすることができず、記録1m85に終わった。同記録・同試技数により4位で、2点を獲得した。

13:10 女子走幅跳 決勝

小原(2年)、本間(1年)の出場。小原はここで4位入賞して点を取りたいところだが、追風のせいもあり2、3跳目はファール、記録もあまり伸びず6跳目の4m48で6位に終わった。本間も3回ファールしてしまい、結局1跳目の4m43で7位に終わった。

13:20 男子やり投 決勝

池田(4年)、小林(1年)、関原(1年)の出場。池田は1投目に44m58とまずま

ずの投擲をみせるが、そこから伸ばすことができず最終記録 44m58 で 12 位。小林はほとんど助走がないながらも今季ベストの 37m48 を記録し 15 位。しかし今後の練習しだいではかなりの伸びが期待できる。関原は 1 投目、ある程度の記録を出すため短助走から 48m05 を投げる。しかし全助走に切り替えた 2 投目以降は失敗投擲を繰り返し、結局、3 投目に背筋を痛めたこともあり 48m05 で 7 位に終わった。

14:20 女子砲丸投 決勝

津村 (4 年)、本間 (1 年) の出場。津村は最近記録が低迷していたが、今回調子を取り戻し、2 投目に 5m64 の自己ベストを出し、7 位。本間は走幅跳と時間が重なっていたが、何とか 6 本投げ、3 投目の 7m34 で 3 位に入賞した。

14:30 男子三段跳 決勝

佐野 (2 年) の出場。佐野は寸分違わぬ正確な助走距離を心地よいリズムで走り、前半試技を 13m77 で折り返しさらなる記録を期待させる。しかし、その後は思い切った跳躍を試みるもまとめることができず、結局記録を伸ばせずに 5 位に終わる。藤田 (4 年) と倉員 (1 年) はケガのため出場出来ず、大量得点が望まれていた種目だけに残念な結果に終わった。

15:00 男子ハンマー投 決勝

池田 (4 年)、合田 (2 年)、庄司 (1 年) の出場。棒高跳、槍投の遅れが影響し、予定より 40 分以上遅れての競技開始となった。池田は、槍投直後でアップ不足もあったのか 1 投目ファールとなるも、2 投目に 23m95 の記録を出し 11 位となった。合田は 1 投目に 26m70 を出し、8 番手でベスト 8 に残った。マイルリレー終了後に行われた後半戦では、4 投目、5 投目ともに 26m 台の記録を残して安定感を見せた。そして 6 投目に自己ベ

ストの 30m59 を投げて、6 位。庄司は、初めてのハンマー投げへの出場で試合感をつかめず、1 投目に 17m45 の記録を残して 14 位に終わった。

5 試合結果

第 55 回国立 7 大学対校陸上競技大会

第 15 回国立 7 大学対校女子陸上競技大会

於 札幌市円山競技場 (H16.8.1)

男子 100m 決勝 (-0.6)

1	米田 武史	東京大	10"86
2	松井 延行	京都大	10"93
3	渡部 祐一	東北大	10"98
4	谷 篤	名古屋大	11"02
5	北垣 卓	京都大	11"18
6	佐藤 進祐	大阪大	11"28
7	式場 健太	東京大	12"26
8	荻山 宣樹	大阪大	DQ

男子 100m 予選 (2 着+2)

1 組 (-0.2)			
2	米田 武史	東京大	10"97
2 組 (+0.4)			
1	式場 健太	東京大	11"12
3 組 (-0.4)			
4	瀧山 健	東京大	11"54

男子 200m 決勝 (±0.0)

1	荻山 宣樹	大阪大	22"09
2	藤井 章輔	京都大	22"11
3	谷 篤	名古屋大	22"33
4	松井 延行	京都大	22"42
5	日巻 祐敦	九州大	22"47
6	渡部 祐一	東北大	22"47
7	可知 晃徳	名古屋大	22"48
8	米田 武史	東京大	22"59

男子 200m 予選 (2 着+2)

2 組 (-1.1)

1 米田 武史 東京大 22"53

3 組 (-1.2)

4 相川 啓佑 東京大 23"06

男子 400m 決勝

1 可知 晃徳 名古屋大 48"02

2 坂田 敦 九州大 48"15

3 北川 達 大阪大 48"68

4 水谷 太郎 京都大 48"94

5 鈴木 義教 東北大 49"36

6 村地 優樹 京都大 49"54

7 畑山 峻 東北大 50"73

8 伊勢田 明弘 東京大 51"01

男子 400m 予選 (2 着+2)

1 組

6 小澤 聡 東京大 52"56

2 組

5 田中 佑貴 東京大 53"16

3 組

2 伊勢田 明弘 東京大 50"79

男子 800m 決勝

1 笹野 佳彦 東北大 1'55"94

2 岡本 英也 京都大 1'56"41

3 庄司 一郎 東京大 1'58"43

4 緑川 磨 名古屋大 1'59"18

5 河野 匠 北海道大 1'59"88

6 今村 浩二 九州大 2'00"20

7 磯島 弘 京都大 2'02"09

8 干場 圭太郎 大阪大 2'05"45

男子 800m 予選 (2 着+2)

1 組

6 橋本 淳 東京大 2'00"70

2 組

1 庄司 一郎 東京大 1'57"75

3 組

4 村井 昂志 東京大 1'59"21

男子 1500m 決勝

1 橘 明德 東北大 3'52"23

2 山崎 裕太郎 東北大 3'55"75

3 今村 浩二 九州大 3'55"96

4 中村 高洋 名古屋大 3'56"43

5 松本 翔 東京大 3'57"98

6 新井 邦生 東京大 3'58"21

7 佐藤 和史 大阪大 3'58"94

8 森本 一広 名古屋大 3'59"13

14 中原 健二 東京大 4'07"72

男子 5000m 決勝

1 橘 明德 東北大 14'38"98

2 松本 翔 東京大 14'50"27

3 濱田 翔平 九州大 15'06"76

4 中村 高洋 名古屋大 15'07"70

5 山家 翔 東北大 15'14"79

6 下瀬 幸男 九州大 15'15"78

7 金政 泰介 大阪大 15'20"10

8 渡辺 敬宏 京都大 15'20"96

11 村田 拓哉 東京大 15'28"25

15 宮崎 哲平 東京大 15'56"81

男子 110mH 決勝 (-0.2)

1 前里 優介 名古屋大 14"93

2 横尾 泰宣 北海道大 15"00

3 内山 喜二 北海道大 15"04

4 萩沢 佑樹 京都大 15"13

5 土屋 貴史 東北大 15"22

6 森田 敏広 名古屋大 15"28

7 垣畑 陽 京都大 15"37

8 尾崎 禎亮 京都大 15"59

男子 110mH 予選 (2 着+2)

1 組 (-0.9)

4 梅沢 啓 東京大 16"15

3 組 (-0.4)

- 田中 啓 東京大 DNF

男子 400mH 決勝			
1	牧 祐輝	名古屋大	53"56
2	水谷 太郎	京都大	53"60
3	内山 善二	北海道大	54"35
4	渡辺 翔太郎	東北大	55"39
5	細川 淳一	東北大	55"69
6	谷 正貴	大阪大	56"27
7	富山 浩太	東北大	56"53
8	横尾 泰宣	北海道大	DNF

男子 400mH 予選 (2 着+2)			
1 組			
7	坂田 祐輔	東京大	60"92
3 組			
5	磯部 洋輔	東京大	61"97

男子 3000mSC 決勝			
1	藤田 浩史	大阪大	9'29"55
2	瀬崎 雅則	東北大	9'35"08
3	山本 大佑	九州大	9'35"41
4	木村 仁	名古屋大	9'38"57
5	伊藤 寿	北海道大	9'38"58
6	大久保 忠博	九州大	9'41"09
7	宮山 和也	北海道大	9'41"82
8	岡田 良平	東京大	9'43"43
13	深瀬 剛正	東京大	9'59"76

男子 4 × 100mR 決勝		
1	京都大	41"93
2	九州大	42"29
3	名古屋大	42"54
4	東京大	42"64
(瀧山-米田-相川-式場)		
5	大阪大	42"70
6	東北大	43"54
7	北海道大	43"57

男子 4 × 400mR 決勝		
1	京都大	3'17"44

2	東北大	3'17"49
3	大阪大	3'19"49
4	名古屋大	3'19"57
5	北海道大	3'23"02
6	東京大	3'27"81
(米田-伊勢田-小澤-沖田)		
-	九州大	DA

男子走高跳決勝			
1	真鍋 周平	大阪大	2m18
2	西川 漠	東北大	2m07
3	真鍋 亨平	大阪大	2m01
4	田中 啓	東京大	1m85
4	森田 敏広	名古屋大	1m85
4	横矢 龍之介	京都大	1m85
7	松久 佳弘	京都大	1m85
8	宮 正彦	東京大	1m80
-	木村 剛	東京大	NR

男子棒高跳決勝			
1	細川 尊史	大阪大	4m50
2	森田 敏広	名古屋大	4m00
3	端浦 雅人	名古屋大	3m80
4	垣畑 陽	京都大	3m80
5	平野 聖	京都大	3m60
6	山本 剛史	東北大	3m60
7	浜田 良太	京都大	3m40
8	村井 剛	大阪大	3m40
9	持永 新	東京大	3m20
9	佐野 太郎	東京大	3m20
-	宮 正彦	東京大	NR

男子走幅跳決勝			
1	藤田 靖浩	東京大	7m00(-0.8)
2	杉本 昌大	京都大	6m94(+0.4)
3	吉岡 和夫	東京大	6m75(+0.3)
4	斎藤 陽	東北大	6m73(+1.0)
5	竹内 昌男	東京大	6m67(+0.8)
6	大西 輝政	大阪大	6m65(+0.3)
7	鈴木 泰伸	名古屋大	6m62(+0.4)
8	福田 真大	名古屋大	6m50(+1.5)

男子三段跳決勝

1	福山 大典	京都大	14m63(+2.2)
2	横矢 龍之介	京都大	14m39(+1.1)
3	大西 輝政	大阪大	14m03(+1.0)
4	鈴木 泰伸	名古屋大	13m98(+0.3)
5	佐野 太郎	東京大	13m77(+1.0)
6	北島 明文	京都大	13m75(+1.1)
7	福田 真大	名古屋大	13m64(+1.2)
8	森田 敏広	名古屋大	13m54(+1.6)

男子砲丸投決勝

1	上田 雄義	大阪大	12m81
2	竹村 顕大朗	京都大	12m22
3	森川 陽介	京都大	11m62
4	依田 典朗	東北大	10m48
5	田中 聡一	京都大	11m62
6	作本 和秀	大阪大	10m28
7	合田 隆彦	東京大	9m81
8	野田 義洋	名古屋大	9m76
9	小林 宗隆	東京大	9m36
14	持永 新	東京大	8m48

男子円盤投決勝

1	上田 雄義	大阪大	36m31
2	合田 隆彦	東京大	35m06
3	飛田 雄一	東北大	33m72
4	山村 彰紀	名古屋大	32m97
5	垣畑 陽	京都大	31m12
6	森川 陽介	京都大	30m83
7	森田 敏広	名古屋大	30m40
8	吉崎 敬祐	京都大	28m87
11	持永 新	東京大	27m30
15	小林 宗隆	東京大	24m58

男子ハンマー投決勝

1	山村 彰紀	名古屋大	43m38
2	木村 克也	京都大	37m12
3	田中 聡一	京都大	36m21
4	飛田 雄一	東北大	34m01

5	依田 典朗	東北大	32m56
6	合田 隆彦	東京大	30m59
7	阿部 譲	東北大	30m33
8	鈴木 基史	名古屋大	29m98
11	池田 大行	東京大	23m95
14	庄司 宇	東京大	17m45

男子やり投決勝

1	上田 雄義	大阪大	59m08
2	山本 貴之	京都大	53m43
3	作本 和秀	大阪大	52m87
4	野々垣 春戸陽	京都大	52m25
5	松田 俊	京都大	50m12
6	鈴木 基史	名古屋大	48m82
7	関原 孝之	東京大	48m05
8	斎藤 陽	東北大	47m43
12	池田大行	東京大	44m58
15	小林宗隆	東京大	37m48

男子トラック順位

1	東北大学	50
2	名古屋大学	45
3	京都大学	44
4	九州大学	27
5	大阪大学	24
6	東京大学	22
7	北海道大学	19

男子フィールド順位

1	京都大学	57
2	大阪大学	44
3	名古屋大学	24
4	東京大学	22
4	東北大学	21

男子総合順位

1	京都大学	101
2	東北大学	71
3	名古屋大学	69
4	大阪大学	68

5	東京大学	44
6	九州大学	27
7	北海道大学	19

女子 100m 決勝 (-0.6)

1	塩入 敦子	東京大	12"91
2	中村 ちひろ	東北大	13"00
3	安田 理香	名古屋大	13"33
4	若村 由樹	名古屋大	13"36
5	小原 明恵	東京大	13"43
6	海野 益代	京都大	13"90
7	滝上 伸子	京都大	14"36

女子 400m 決勝

1	塩入 敦子	東京大	58"42
2	久野 理絵	名古屋大	59"12
3	中村 ちひろ	東北大	59"77
4	目黒 亜由子	東京大	59"95
5	柳原 南欧美	名古屋大	60"81

女子 800m 決勝

1	目黒 亜由子	東京大	2'16"45
2	久野 理絵	名古屋大	2'21"43
3	小山 倫代	名古屋大	2'22"10
4	益野 可奈子	九州大	2'22"67
5	大蔵 千恵	九州大	2'29"54
6	三木 香	大阪大	2'31"21
7	岩瀬 祥子	京都大	2'32"09
8	斎藤 理恵	東北大	2'33"53

女子 3000m 決勝

1	工藤 亜樹子	東北大	10'12"33
2	三谷 奈央	名古屋大	10'28"03
3	向田 恵	東京大	10'29"32
4	小山 倫代	名古屋大	10'45"79
5	大蔵 千恵	九州大	10'49"26
6	益野 可奈子	九州大	10'55"59
7	山下 里絵	京都大	11'06"49
8	渥美 知恵	大阪大	11'06"56
11	清水 里紗	東京大	11'46"13

女子 4 × 100mR 決勝

1	名古屋大	50"83
2	東京大	51"98
(小原-塩入-津村-目黒)		
3	京都大	54"32
4	東北大	57"02
5	九州大	61"03

女子走高跳決勝

1	河合 春菜	京都大	1m45
2	海野 益代	京都大	1m40
3	勝野 麻美	北海道大	1m40
4	本間 諒子	東京大	1m30
5	柳原 南欧美	名古屋大	1m25

女子走幅跳決勝

1	海野 益代	京都大	5m20(+1.0)
2	原田 幸	名古屋大	5m00(+1.8)
3	森村 あかね	京都大	4m72(+1.7)
4	吉川 泰代	大阪大	4m60(+1.9)
5	勝野 麻美	北海道大	4m53(+1.1)
6	小原 明恵	東京大	4m48(+1.1)
7	本間 諒子	東京大	4m43(+0.9)
8	野崎 莉代	東北大	4m29(+0.6)

女子砲丸投決勝

1	高橋 明珠	名古屋大	9m99
2	野坂 幸世	名古屋大	7m68
3	本間 諒子	東京大	7m34
4	北川 佳奈	京都大	6m96
5	森村 あかね	京都大	6m37
6	住田 花恵	大阪大	6m02
7	津村 瑛子	東京大	5m64
8	金城 アリシア	大阪大	5m32

女子トラック順位

1	名古屋大学	19
2	東京大学	18
3	東北大学	10

4	京都大学	2
5	九州大学	1

女子フィールド順位

1	京都大学	14
2	名古屋大学	10
3	東京大学	3
4	北海道大学	2
5	大阪大学	1

女子総合順位

1	名古屋大学	29
2	東京大学	21
3	京都大学	17
4	東北大学	10
5	北海大学	2
6	大阪大学	1
6	九州大学	1

6 2004年度部内5傑 2004.8.1 現在

男子 100m

1	米田 武史 (3年)	10"69(+0.6)	5.1
2	式場 健太 (4年)	11"12(+0.4)	8.1
3	相川 啓佑 (2年)	11"39(+1.3)	4.24
4	瀧山 健 (2年)	11"41(+1.3)	4.24
5	三好 信哉 (2年)	11"72(+1.5)	5.22

男子 200m

1	米田 武史 (3年)	22"12(+0.5)	5.15
2	相川 啓佑 (2年)	22"69(+1.2)	5.22
3	瀧山 健 (2年)	23"28(+0.7)	5.22

男子 400m

1	堀内 壮太 (6年)	50"25	5.1
2	伊勢田 明弘 (2年)	50"79	8.1
3	沖田 朋憲 (1年)	52"26	7.31
4	小澤 聡 (1年)	52"53	7.11
5	田中 佑貴 (3年)	52"4	3.28

男子 800m

1	村井 昂志 (3年)	1'57"67	4.29
2	庄司 一郎 (3年)	1'57"75	8.1
3	橋本 淳 (2年)	2'00"70	8.1
4	新井 邦生 (2年)	2'01"6	3.27
5	割沢 高行 (2年)	2'02"8	5.30

男子 1500m

1	松本 翔 (1年)	3'57"98	8.1
2	新井 邦生 (2年)	3'58"21	8.1
3	中原 健二 (3年)	4'05"2	5.22
4	庄司 一郎 (3年)	4'11"3	3.28
5	千島 悠司 (2年)	4'11"5	5.22

男子 5000m

1	松本 翔 (1年)	14'30"82	5.17
2	村田 拓哉 (3年)	15'28"25	8.1
3	中原 健二 (3年)	15'47"8	3.27
4	宮崎 哲平 (3年)	15'49"90	4.29
5	岡田 良平 (2年)	15'50"79	4.29

男子 10000m

1	松本 翔 (1年)	30'03"94	5.14
---	-----------	----------	------

男子 110mH

1	田中 啓 (4年)	15"48(+1.3)	5.1
2	梅沢 啓 (2年)	15"80(-1.3)	5.16
3	持永 新 (2年)	18"45(-0.8)	7.18

男子 400mH

1	坂田 祐輔 (2年)	60"92	8.1
2	伊勢田 明弘 (2年)	61"33	6.20
3	磯部 洋輔 (2年)	61"7	3.28

男子 3000mSC

1	深瀬 剛正 (4年)	9'38"44	4.18
2	岡田 良平 (2年)	9'43"43	8.1
3	中原 健二 (3年)	10'18"39	7.11
4	山崎 大 (2年)	10'23"69	7.11
5	清松 啓司 (4年)	10'24"21	4.4

男子 5000mW

1	春木 洋輔 (5年)	22'04"56	7.31
2	深尾 宙彦 (2年)	26'13"75	7.31

男子 10000mW

1	春木 洋輔 (5年)	44'36"6	3.28
2	深尾 宙彦 (2年)	51'56"1	3.28

男子 ハーフマラソン

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 松本 翔 (1 年) | 67'09 | 7.4 |
| 1 | 門脇 充典 (3 年) | 83'07 | 4.11 |

男子 走幅跳

- | | | | |
|---|-------------|------------|------|
| 1 | 藤田 靖浩 (4 年) | 7m28(-0.2) | 6.12 |
| 2 | 竹内 昌男 (2 年) | 7m15(+0.8) | 4.25 |
| 3 | 吉岡 和夫 (4 年) | 6m90 | 4.18 |
| 4 | 相川 啓佑 (2 年) | 6m63 | 4.25 |

男子 三段跳

- | | | | |
|---|-------------|-------------|------|
| 1 | 藤田 靖浩 (4 年) | 15m01 | 6.5 |
| 2 | 佐野 太郎 (2 年) | 13m97(+1.1) | 5.22 |
| 3 | 林 盛 (2 年) | 13m02 | 4.4 |

男子 走高跳

- | | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 宮 正彦 (2 年) | 1m95 | 7.11 |
| 2 | 田中 啓 (4 年) | 1m90 | 5.22 |
| 3 | 藤田靖浩 (4 年) | 1m75 | 7.11 |

男子 棒高跳

- | | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 持永 新 (2 年) | 3m40 | 6.20 |
| 2 | 佐野太郎 (2 年) | 3m20 | 8.1 |

男子 砲丸投

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 合田 隆彦 (2 年) | 10m88 | 4.25 |
| 2 | 持永 新 (2 年) | 9m52 | 7.17 |
| 3 | 小林 宗隆 (1 年) | 9m36 | 8.1 |
| 4 | 田上 遼 (2 年) | 8m79 | 5.22 |

男子 円盤投

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 合田 隆彦 (2 年) | 37m71 | 5.22 |
| 2 | 持永 新 (2 年) | 27m30 | 8.1 |
| 3 | 倉員 智瑛 (1 年) | 26m73 | 5.22 |
| 4 | 庄司 宇 (1 年) | 26m36 | 7.11 |
| 5 | 吉岡和夫 (4 年) | 24m82 | 7.11 |

男子 ハンマー投

- | | | | |
|---|-------------|-------|-----|
| 1 | 合田 隆彦 (2 年) | 30m59 | 8.1 |
| 2 | 池田 大行 (4 年) | 23m95 | 8.1 |
| 3 | 庄司 宇 (1 年) | 17m45 | 8.1 |

男子 やり投

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 関原 孝之 (1 年) | 48m05 | 8.1 |
| 2 | 池田 大行 (4 年) | 47m03 | 5.17 |
| 3 | 田中啓 (4 年) | 42m97 | 7.11 |
| 4 | 持永 新 (2 年) | 37m50 | 3.28 |
| 5 | 小林宗隆 (1 年) | 37m48 | 8.1 |

男子 十種競技

- | | | | |
|---|------------|------|---------|
| 1 | 持永 新 (2 年) | 5116 | 7.17,18 |
|---|------------|------|---------|

女子 100m

- | | | | |
|---|-------------|-------------|------|
| 1 | 塩入 敦子 (4 年) | 12"91(-0.6) | 8.1 |
| 2 | 小原 明恵 (2 年) | 13"27(+1.0) | 5.22 |
| 3 | 津村 瑛子 (4 年) | 14"82(+1.3) | 5.22 |

女子 400m

- | | | | |
|---|--------------|-------|-----|
| 1 | 塩入 敦子 (4 年) | 58"42 | 8.1 |
| 2 | 目黒 亜由子 (4 年) | 59"95 | 8.1 |

女子 800m

- | | | | |
|---|-------------|---------|------|
| 1 | 目黒亜由子 (4 年) | 2'16"0 | 6.13 |
| 2 | 向田 恵 (2 年) | 2'28"20 | 5.22 |

女子 1500m

- | | | | |
|---|-------------|---------|------|
| 1 | 向田 恵 (2 年) | 4'57"56 | 4.29 |
| 2 | 河本 和美 (2 年) | 6'01"40 | 7.11 |

女子 3000m

- | | | | |
|---|-------------|----------|-----|
| 1 | 向田 恵 (2 年) | 10'29"32 | 8.1 |
| 2 | 清水 里紗 (2 年) | 11'46"13 | 8.1 |

女子 400mH

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 塩入 敦子 (4 年) | 62"06 | 5.14 |
|---|-------------|-------|------|

女子 走高跳

- | | | | |
|---|-------------|------|-----|
| 1 | 本間 諒子 (1 年) | 1m30 | 8.1 |
|---|-------------|------|-----|

女子 棒高跳

- | | | | |
|---|-------------|------|------|
| 1 | 本間 諒子 (1 年) | 3m00 | 5.14 |
|---|-------------|------|------|

女子 走幅跳

- | | | | |
|---|-------------|------------|-----|
| 1 | 小原 明恵 (2 年) | 4m48(+1.1) | 8.1 |
| 2 | 本間 諒子 (1 年) | 4m43(+0.9) | 8.1 |

女子 砲丸投

- | | | | |
|---|-------------|------|-----|
| 1 | 本間 諒子 (1 年) | 7m34 | 8.1 |
| 2 | 津村 瑛子 (4 年) | 5m64 | 8.1 |

文責：平野茉来